



【提出】 4/25 議事録（案）の送付
宛先: NISA佐久間庶洋,NISA島田太郎

Cc:

2011/04/25 21:22

to: 保安院 島田様 佐久間様
fm: 中長期対策T(旧遼へいPJT)

お世話になっております。
本日（4/25）の議事録（案）を提出致しますのでご査収ください。

以上



毎回 遅くなり申し訳ございません。 20110426_第1回（18回）記事録（案）.doc

中長期対策チーム 議事録(案)

1.日時:平成 23 年 4 月 25 日(月) 14 時 00 分~14 時 40 分

2.場所:経済産業省 別館 10 階 1042 会議室

3.出席者(敬称略):

[リーダー]馬淵総理補佐官、(東京電力) [REDACTED]

石井議員

(国土交通省)渡辺

(経済産業省)朝日、角野

(原子力安全・保安院)根井、佐久間

(外務省)一

(防衛省)山口 他

(厚生労働省)永田

(文部科学省)川口

(原子力安全基盤機構)加藤

(NRC) [REDACTED] 他

(日本原子力研究開発機構)中村

(東京電力) [REDACTED]

(その他)日立、東芝、鹿島建設 他

4.議事

(1) 東京電力から次の事項を報告した。

- 4/18(月)放射線遮へい／放射性物質放出低減対策チーム 議事録(案)。
- 4/25(月)の飛散防止剤散布の作業日報および4/1~24までの実績。

(2) 飛散防止剤の各種試験結果(撒きムラ状況、固化状態、散布前後の線量、電気品への影響、基礎特性、伝熱性能等)および耐用期間について報告。これらの結果を踏まえた飛散防止剤の使い分け、および、本格散布計画を報告し、本格散布の開始をお諮りした。

- 確認試験は十分に行われ、慎重に材料を選定したといえる。プロジェクト提案承認の手続きを行うこと。

(3) カバリングの進捗状況として、設計方針およびスケジュールを報告した。

- カバリングは法的な位置付けが明確でないため、原子炉等規制法、原事法に囚われず事業者自らが設置するものとして、設計方針や構造安全性の考え方や強度等について保安院と協議を進めている。
- 1号機のカバリングは6月~7月の工期で設置する予定。
- 飛散防止剤の確認試験で、放射性物質の飛散がある程度抑制できることが確認できた。

- カバリングによって作業環境の悪化や、復旧作業の障害になるようなことが無いように検討を進めること。(5月半ばまで検討して、線量の状態を見る)。
- カバリングに設ける換気機能や作業環境整備について今後、条件を整理する。

5.その他

次回の会合は、5/2(月)14:00～ METI 別館 1042 会議室とする。

以上